

おお大勝利

平成 21 年度山東サッカー部報第 7 号 (6 月 2 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。**5月26日発行の前号は第5号ではなく第6号でした。**すみませんでした。

まずは初戦鶴工戦 勝利！！

5月31日(日)、新庄北高校グラウンドにて、山東の県総体初戦、鶴岡工業戦が行われました。鶴岡工業とは大事なところでいつも対戦している印象。県総体では2年連続での対戦。去年山東は何とか勝ちを拾ったものの、最後まで冷や冷やさせられた試合でした。今年も対戦が濃厚な組み合わせになったときに、正直、いや～な感触がありました。そうなんです。すごくがんばってくる、敵としてはいや～な相手なのです。コンタクトスキル(競り合いの技術)に秀でており、スピードある選手もいる。30日(土)の県総体1回戦では、米沢東の落ち着いたプレー、テクニックあふれるプレーに手を焼きましたが、要所は締め、2-0で勝利。左サイドバックのオーバーラップ、FWのスピード・スキル(特に左利きをうまくいかしたドリブルのスキル)に目を見張るものがありました。**県総体での負け=3年生引退**という山東には、とにかく結果が必要。しっかり結果を出すためには、その長所を消しつつ山東のペースに持ち込むことが重要、などと考えながら試合を迎えました。

31日は小雨は降るものの、雨がピッチの砂埃を抑える、そして気温も暑すぎず寒すぎずの絶好の公式戦日和。山東は主将鬼嶋をトップに置き、高い位置(敵ゴールに近い位置)で拠点を作る作戦。右サイドハーフの宍は高い位置取りで、敵左サイドバックを牽制。狙い通り行けば・・・と祈りながら試合開始。山東は序盤から、とにかく鬼嶋に当てて攻めるロングボール主体の攻撃。これは狙い通り。しかし大きく展開してから手厚く攻めることはできず、一進一退の攻防。対して鶴工もロングボールに頼りながらリスクを負わない試合運び。序盤は蹴り合いの様相。山東は若干押し気味に試合を進めるも、ヘディングでことごとく鶴工に競り負けるなどあり、なかなかペースを握れない。そんな苦しい時間を過ごした前半の後半、右奥で敵をかわしながらルーズボールを自分のものにした鬼嶋から山なりのセンターリング。それを走りこんだ**2年松永**が上体をしっかり振ってヘディング。ゴール左隅のネットを揺らし待望の先制！そのまま前半を終えました。

後半は少しずつ、落ち着いたボールポゼッションからワイドに攻めることができるようになる。ただ、敵ボランチの⑩が鶴工の攻守の要として利いており、山東はボランチを経由して敵に的を絞らせず攻めることがなかなかできない。1点のままでは苦しいと思っていた中盤、敵ゴール前に押し込んでこぼれたボールを**2年直弘**が左足でボレー、これまたゴール左隅に突き刺さり追加点。その後は前がかりになった鶴工からカウンターで2点取り、合計4-0で勝利。結果が何よりも欲しかっただけに、ホッとしたというのが正直な感想。これでひとまず命が1週間永らえました。

たくさんのOBの方々（OB1年生も含め）、保護者の方々、保護者OBOGの方々から応援を頂戴しました。山東応援団にもはるばる新庄まで来てもらい、激励してもらいました。**ありがとうございました**。また3年生保護者の斉藤さん、五十嵐さんから差し入れ頂戴しました。重ねて御礼申し上げます。

県総体第2ラウンドについて

次戦の相手は、第1シード山形中央。初戦鶴岡中央との中央対決で延長まで行って苦戦したようですが、それでチームが締まって次に合わせてくるでしょう。厳しい戦いは必至です。**6月5日(金)11:00真室川町総合運動公園**。ウィークデーですが、たくさんの応援をお願いします。

下は県総体第1ラウンドの決算となります（年度末の監査の対象となります）。別紙は第2ラウンドの予算案とスケジュール案となります。ご確認の上、ご協力をお願いします。

最後に宿泊先ですが、最北地区の県総体事務局による配宿により、サッカー競技は**鮭川村羽根沢温泉**となりましたので、第1ラウンドと場所が変わります。宿泊先がまだ決定されていませんが、決まり次第、「宿泊組」にはお子さんを通じてご連絡いたします。